

報道関係各位

ジャルパック「健康経営優良法人 2020 ホワイト 500」認定

株式会社ジャルパック（本社：東京都品川区、代表取締役社長 江利川宗光）は、「健康経営優良法人 2020 ホワイト 500」に認定されました。



「健康経営優良法人認定制度」は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議（*1）が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営（*2）を実践している企業を顕彰する制度です。健康経営は社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することで、従業員の活力向上や生産性の向上などの組織活性化をもたらす、業績向上や株価向上につながると期待されています。

（*1）国民一人ひとりの健康寿命延伸と、適正な医療について実効的な活動を行うために組織された活動体です。

（*2）NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

健康経営にむけた当社の取り組み

1. JAL グループ中期経営計画と連動した健康推進計画「JAL Wellness 2020」を策定し、生活習慣病、がん、メンタルヘルス、喫煙、女性の健康を重点施策とし、社員・会社・健康保険組合が一体となって社員とその家族の健康づくりに取り組んでいます。
2. 経営の強いリーダーシップと、健康推進役である「ウェルネスリーダー」を中心とした職場ごとの取り組みを両輪として、健康経営を推進しています。
3. 社員の公募により結成された『WHIP（ホイップ）』（Work and Holiday Innovation Project（*3））により、働き方改革やダイバーシティ&インクルージョンなどと連携しながら推進しています。

（*3）「わたしらしく働く」というキャッチコピーをつけ、一人ひとりが「働くこと・働き方」について、主体性をもって考えて行動をおこし、素晴らしい人生を送るために自分らしく働こう！との意志が含まれています。強い芯を持ちながら柔らかなことばで表現しています。



健康経営の取り組み事例
「本気の！ラジオ体操」の様子



ホイップクリームをイメージ
シンプルで明るくポジティブなデザイン

国内旅行、海外旅行のジャルパックは、なによりも「お客さま視点」を大切に、「旅のプロ」としてお客さま・旅行会社のみならず常に指名される旅行会社を目指してまいります。また、JAL グループの一員としてコンプライアンスを遵守し、社員一同団結して広く社会に貢献するべく努めてまいります。